



びーのびーのは、子育て中の親子がいつでも立ち寄れるほっとできる場所です。

びーのびーの 通信

2011年 7月号

NO.133 ■ NPO 法人びーのびーの事務局 ■

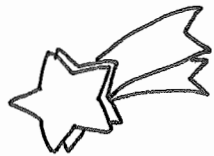
〒222-0037 横浜市港北区大倉山3-57-3

TEL045-540-7422 FAX045-540-7421

URL <http://www.bi-no.org>

●ほら…蚊取り線香は夏のおい…

去る6月17日、今年もNPO 法人びーのびーのの総会が無事に終わりましたので、ご報告いたします♪
日頃より多くの方にご協力にいただいていることを、感謝いたします。(詳細は別紙をご覧ください)



びーのびーの総会のご報告

～大震災から学ぶ これからの10年を目指して～

理事長 奥山千鶴子

3月11日の東日本大震災から3ヶ月半過ぎようとしています。被災地の現状は、いまなお復興途上にあります。この震災を通じて、私たちは子育て家庭の基盤の脆弱に改めて愕然とし、家族を失った家庭、離れ離れで生活を強いられる環境に対して心を痛めています。私たちが出来ることとして、一人ひとりが心を寄せ、自分たちの出来る範囲で応援を続けること。そしてさらに、子どもと家族を守る社会的基盤整備を早く実現できるよう働きかけることだと思います。

法人としては、昨年度10周年の区切りを迎えることができました。これまで支えてくださった多くの方々から、励みになる温かいメッセージなどをいただくことができました。事業報告は添付をご覧ください。昨年度の事業報告・決算、本年度の事業計画・予算が承認されました。

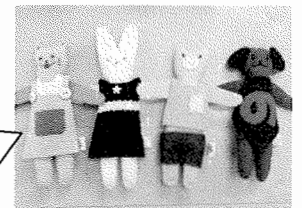
おやこの広場びーのびーのは、ひろばでの一時預かりも軌道にのり、身近な子育て家庭への支援の輪がひろがりました。港北区地域子育て支援拠点どろっぴは、区の拠点としての機能をはたすべく、より一層港北区内の各地域にお邪魔する機会も増えました。また、子育てサポートシステム区支部事務局を受託し、提供会員、利用会員ともに着実に増えています。グループ保育ゆーのびーのは、ひろばとの連携の中で「親の安心感、子どもたちの育ちを連続して支える場」になっています。また、出版部門が独立し、「子どもと保育総合研究所」の支援を受けて、びーのびーの企画室が立ち上がり、幼稚園・保育園ガイドも新しい製作環境での船出となりました。

いよいよ政府は、子ども・家庭支援の新しい仕組み作りに動き出しています。初めての子育てに寄り沿う私たちの地域子育て支援拠点事業は、公的サービス、民間サービスにつながる利用者支援の観点からもたいへん期待されています。子どもを中心に親たちが支えあい、励ましあえる場の設定、課題を抱えるご家庭への支援、幼稚園や保育所などへのつなぎ、家庭に安心を与える地域情報発信など、びーのびーのがこれまで築いてきた事業とネットワークをさらに進化させ、より活動を深めていきたいと思っています。

大震災という厳しさを踏みしめながら、だからこそ見えてきた人々の支え合いに希望を見出しながら、新たな気持ちで各事業を進めていきたいと思ひます。

本年度もよろしくお祈りします。

*バザーで作成し、皆様に購入いただいた動物マスコットは、陸前高田、仙台などのひろばにお届けしました。



ただいま
募集中♪

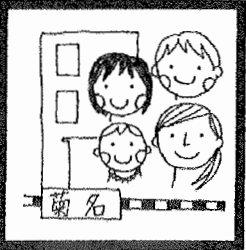
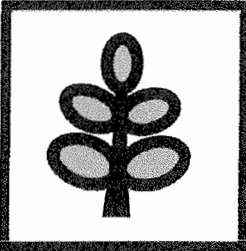
わくわく子育てサポーターになろう!

中学生・高校生ボランティア募集! 興味のある方は事務局までお問い合わせ下さい。(TEL:045-540-7422)

※この活動は子どもゆめ基金(独立行政法人国立青少年教育振興機構)の助成金を申請中です。

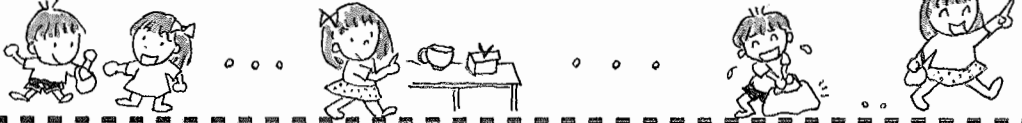


おやこの広場
びーのびーの



ひろばの風景

のんびりとしたひろばで、2歳のMちゃんとKくん、一緒にお買い物ごっこが始まりました。いつもKくんはMちゃんの後ろを歩き、Mちゃんはかばんを腕にかけてひろばの中にあるものを品定め・・・(大きい女の子が物を買う時に迷って考えている様子と同じ・・・)そして・・・決まった!!「これにしよう〜!」と袋におもちゃを入れる。横で見ていたKくんは袋を渡して持ってもらい、またお買い物・・・これが続く・・・Kくんもだんだん大きくなる袋を持って一緒に歩く。男の子がやさしいのか・・・?女の子が強いのか・・・?(スタッフS)



ひろば利用案内

<入会金>・・・1000円
1ヶ月フリーパス・・・2100円/月
1回利用料・・・300円/回
マタニティ利用料・・・200円/回
ビジター利用料・・・500円/回

※入会金は、1家族初回のみ。
のちにぎょうだいが入会の場合は不要。

◆0〜3歳の子どもが対象です。 ◆ひろば見学は、初回のみ無料です。
◆ぎょうだいで同時にひろば利用される場合、2人目以降半額。(6ヶ月未満は無料)
ただし、下のお子さんは上のお子さんのひろば卒業と同時に正規料金となります。
◆ひろば利用料は、びーのびーの運営、維持費として活用させていただいています。

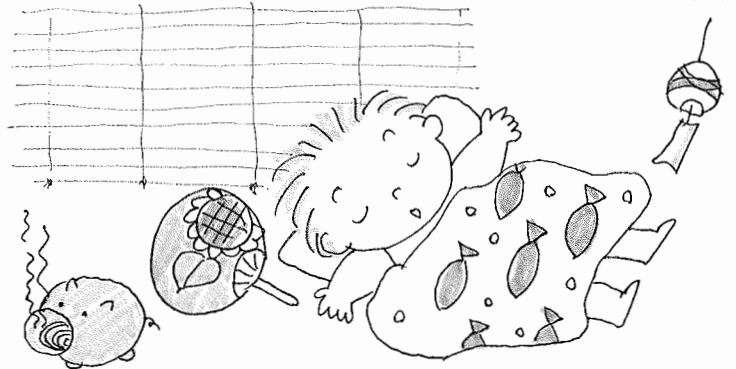
【開館時間】
月・火・木・金 9:00〜16:00
水曜日 13:00〜16:30
第3土曜日 10:00〜14:00

【休館日】
第3土曜日以外の土曜日・日曜日
祝日・年末年始・特別休館日

♪ひろばのイベント、紹介します♪

昨年の10月号以来、しばらく間があいてしまいましたが、ひろばのイベント紹介第2弾です。隔月でベビーマッサージを企画しています。担当の小林規智子先生からのメッセージをご紹介します。

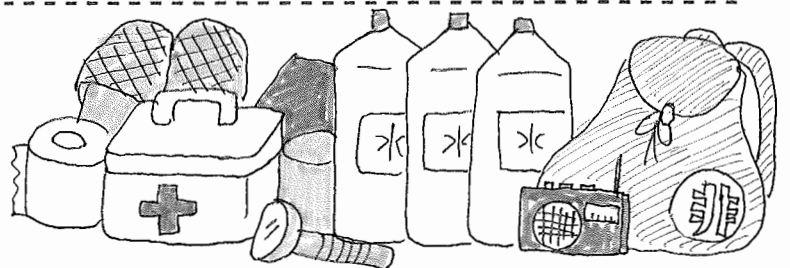
ベビーマッサージ担当鍼灸師の小林です。赤ちゃんはマッサージ大好き!赤ちゃんの皮膚をママの手でかき刺激して赤ちゃんの健康とすこやかな成長を促し、赤ちゃん和妈妈のスキンシップにもなりますよ。日頃の子育ての悩み事と質問にもお答えします。後半は日頃のママの疲れを癒す時間です。こんなに簡単に肩こり、疲れが取れるの!目からウロコ状態かもしれません。お会いできることを楽しみにしています。



・・・備えがあれば・・・

夏に向けて節電が話題になりますが、今後の防災対策も気になります。具体的な対策はもちろんのこと、心構えも大切。震災後、気持ちが不安定になったり身体の不調を覚えた方も多かったことでしょう。そんな中、落ち着いた表情の親子ボラのAさん、その理由は・・・?

震災後、心配なニュースが絶えませんが、あまり不安を感じなかった私。なぜかなあ。と考えて思いつくことは、小さい頃からの準備でした。私はクリスチヤンの家庭に育ったのですが、通う宗派が災害対策に熱心だったため、中高生の頃は毎年キャンプに行きサバイバル術や救急法を学び、時々電気ガス水道を使わない生活を試したりして育ちました。「3か月分の食糧貯蔵をしなさい。」と言われ続けて30年ちょっと、「ついに来たか!」というのが正直な感想です。しかし実際のところ、準備はさっぱり足りていなかったことも痛感したので、今後もいつ何が起きても大丈夫な、物心両面での準備を続けていきたいと思えます。(親子ボラA)



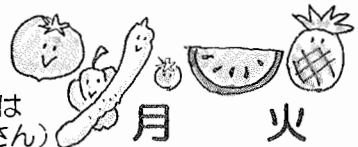
グループ保育の風景



ゆーのびーのの定員は12人。今年も6月はじめに定員に達しました。スタッフとして、5年間かかっていると、ひとりひとりの個性とは別に「年ごとの子どもたちのカラー」というものもあるなあと感じます。

今年の子どもたちのカラーは「よく歩く」。毎年、この時期のお散歩は、「だっこ、だっこ」「歩かない」「歩けな—い」と、いう子どもがたくさんいて、「ママと離れるのははじめてだものね」と、スタッフがなだめたり、抱っこしたり、子どもたちが自分の力で歩き出すのをゆっくり見守っています。しかし、今年の子どもたちは、実にしっかりした足取りでどンドン歩きます。スタッフもうれしくなって、ちょっと遠くの公園にも、毎回のようにせっせと出かけています。きょうだいの上の子も、下の子もいるし、真ん中の子も、そして一人っ子もいます。ママと自転車で移動している子、ベビーカーの子、歩いている子。家庭環境は十人十色なのに。「良く歩く今年の人たち」不思議ですね。(D)

- 7日(木) 11:00~
旬の夏野菜でカレーを作って食べよう!
これからの暑さに負けないように夏野菜のカレーと新鮮野菜を食べましょう。(野菜は地元野菜を取り寄せます。提供:加藤農園さん)
要予約 会員限定:15組 参加費:200円
- 15日(金) 13:00~14:30 子育て相談日
臨床心理士の伊志嶺美津子先生が子育ての中で出会う不安や心配な事を一緒に考えて下さいます。
- 16日(土) 11:30~ お話し会
元気な子も集まれ!まずは気軽に参加してね。
- 20日(水) スタッフ研修のため一日休館します。
- 25日(月) 13:30~ 親子体操
親子で体を動かしましょう。子どももママも動きやすい服装で。
参加費:無料 予約:不要
- 28日(木) 10:30~ ベビーマッサージ
鍼灸師の小林規智子先生によるオイルを使わないマッサージです。ママも赤ちゃんもゆったり気分になれますよ。
要予約:8組 参加費:400円



7月 Calendar

月	火	水	木	金	土
				1	2
4	5	6 13時開館	7 夏野菜でカレーを作って食べよう	8	9
11	12	13 13時開館	14	15 子育て相談日	16 10~14 開館 お話し会
18 海の日	19	20 一日休館	21	22	23
25 親子体操	26	27 13時開館	28 ベビーマッサージ	29	30

☆一般参加の場合、ひろば利用料として500円別途いただきます。
☆水曜日の開館時間は13:00~16:30です。
☆木曜日午前中は助産師がいます。
7月は28日(木)です。お気軽にご相談を。(不在の場合もありますので、ご了承ください。)



共催 表谷町内会・菊名西口商店街連合
菊名駅西口 **盆踊り大会**

【日時】7月30日(土)、31日(日) 19:30~21:30
【場所】東急ストア駐車場広場*小雨決行、雨天時模擬店のみ

模擬店も多数出店:
焼きそば、焼き鳥、焼きとうもろこし、ポップコーン、ビール、ジュース、かき氷、スーパーボール?すくいなど。
*お子様には素敵なプレゼントをご用意しています。

びーのびーのも出店するよ!

お待たせしました! プール遊び
梅雨の晴れ間のお天気のよい日はプール遊びをします。水着・着替え・タオル・帽子を忘れないでね。☆詳細についてはお問い合わせください。

~親子ボラと会員ママのつぶやき~

電車などで二人の子どもを連れて外出すると、ほぼ100%見知らぬ人に声をかけられる。こんなに知らない人に声をかけられるのは、人生初という位。子育てしてみないと分からなかった感覚である。ほとんどがお年寄りの方で、子どもに対しては、「可愛いわね」や「おめでとうさんね」なのだが、「二人も連れて大変ね」「えらいわね」など私にも労わりの言葉をかけてくださる。肩の力がすっと抜ける瞬間である。よくかけられる言葉の中で一番心に残るのが、「今は大変な時かもしれないけど、一番幸せな時でもあるのよ」という言葉である。有難いお言葉だが、髪振り乱して子育てしている今、正直自覚はない。そういう風に穏やかに思えるまであと何年かかるのだろうか。(会員Fさん)

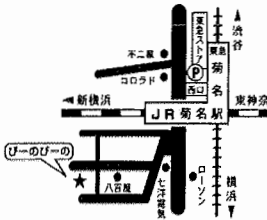
びーのびーの活動って？

NPO法人びーのびーのは、地域で共に育ち合う子育て環境を目指して、港北区内に拠点を置き事業を展開しています。また、各拠点にどう人とのつながりを大切にしつつ、さまざまな連携を図りながら地域への発信をしています。

拠点

親と子のつどいの広場事業 おやこの広場 びーのびーの

◆横浜市補助事業「親と子のつどいの広場事業」
2000年4月開設。商店街の空き店舗を借り上げて、子育て当事者で立ち上げた子育てひろば。利用者である会員やスタッフ、ボランティア、地域の人たちと共に、子どもの遊びや育ちを見守り、出会えるひろば。子どもも大人も居心地の良い居場所づくりを目指して取り組む。http://www.bi-no.org/



〒222-0021
横浜市港北区篠原北 1-2-18
TEL 045-439-7447
FAX 045-439-7448

- ◆開館時間◆
月・火・木・金 9:00～16:00
水曜日 13:00～16:30
第3土曜日 10:00～14:00
- ◆休館日◆
第3土曜日以外の土曜日
・日曜日・祝日・年末年始
・特別休館日

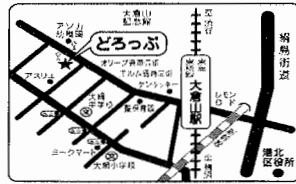
東急東横線・JR横浜線菊名駅西口より徒歩2分

港北区地域子育て支援拠点 どろっぶ

◆港北区地域子育て支援拠点委託事業
2006年3月開設。0歳～6歳までが登録。横浜市次世代育成支援行動計画「かがやけ横浜子どもプラン」における1区に1つの支援拠点モデル事業として開設。5つの要綱(親子の居場所事業/相談事業/子育て情報の収集発信事業/ネットワーク事業/人材育成事業)を総合的に取り組むための拠点として運営。http://www.kohoku-drop.com/

- ・ボランティア体験講座「ボラリーグ☆こほく」
- ・「港北区子育て応援メールマガジン ココめ〜る」

◆横浜市子育てサポートシステム港北区支部事務局
地域の中で子どもを預けたり、預かったりすることで人と人とのつながりを広げ、地域ぐるみでの子育て支援をめざす「横浜市子育てサポートシステム」の港北区支部事務局として2010年7月より運営。
(月～土曜日 9:00～17:00・専用 TEL 045-547-6422)



〒222-0037
横浜市港北区大倉山 3-57-3
TEL 045-540-7420
FAX 045-540-7421

- ◆開館時間◆
火～土曜日 9:30～16:00
- ◆休館日◆
日曜日・月曜日・祝日・年末年始・特別休館日
- ◆登録料・利用料◆ 無料

東急東横線大倉山駅徒歩10分
またはバス41系統川向町行き「観音前」下車

事業

◆預かり保育事業「ゆーのびーの」

今年度は2～3歳児のグループでの預かりを、おやこの広場びーのびーので水曜日の午前を実施。在宅家庭支援に必要とされる幼児期の預かりへのニーズに対応する。預かりを通じて親との信頼関係を築き、地域からの理解を得ながら活動。

◆子育て関連情報の編集・制作・販売

- ・広報紙の発行(毎月)
法人全体の事業や地域の子育て関連情報を紹介。
- ・幼稚園・保育園ガイドの発行(年1回)
港北区および周辺地域の園情報を掲載

◆菊名WARA・びー実行委員会

小学生を中心に親子でまちの歴史を学び、交流を深めることを目指した地域交流事業。

◆ウェブサイトの編集・制作・運営

・港北区子育て応援マップ【ココマップ】

〈港北区社会福祉協議会受託事業〉

2004年9月、子育て情報サイトを開設。子育て当事者らによる編集委員会を毎月開催。特集ページの作成、子育て関連イベント情報の提供など充実したサイトを運営。
http://www.kouhokushakyo.or.jp/

◆わくわく子育てサポーター事業

学生ボランティアが子育て家庭を訪問し、乳幼児家庭のお手伝いに参加する活動を中心に、活動前の研修や地域学校や保護者との連携の体制づくり、学生ボランティアの活動支援作りのための場づくりを支援。

法人事務局

●NPO法人

びーのびーの事務局
正会員・準会員の管理をはじめ、対外的な窓口として機能を果たす。

関連法人事務局

●NPO 法人子育てひろば
全国連絡協議会事務局
全国の子育てひろばの会員組織を研修事業・調査研究事業などでサポート。

編集後記

ひろばで誰に似てる～！？という話題になりました。レディ・ガガに似てる！と言われまるっきり芸能ネタに弱い私は？となり、そっと自分のPCでネットで検索したらぶったまげました(驚) それからニュースを付ける度になって気になって、でもライフスタイルまで真似ることはできないまでも、何だかTVに釘付けになっています。年収72億円がああ・・・(は)

びーのびーの通信

No.133

発行元 NPO法人びーのびーの 発行人 奥山千鶴子
＜編集＞ 米本真貴子 白瀬宏子 今井幸子 高橋直子
原美紀 牧谷泰子 山田弘美 戸松綾子
＜イラスト＞ 山田弘美 横山朋子 牧谷泰子

横浜の野菜で夏を乗り切ろう!

7月末までの期間限定で火・木・土曜日に夏野菜を直売します。あま〜い枝豆、あま〜いトマト その他安心して新鮮なお野菜がいっぱい!!直売日当日朝9時～12時まで電話で予約を承ります。夕方16時～18時の間に取りにいらしてください。
(※詳細045-481-0437へお問い合わせください)



加藤農園

横浜市神奈川区片倉3-3-15
(市営地下鉄『片倉町』駅1番出口出ですぐ上)

伝言板

各種保険・労災・交通事故取扱い

たるまち接骨院

☆キッズスペースあります☆

	月	火	水	木	金	土
午前 9:00～14:00	○	○	○	○	○	○
午後 16:00～19:00	○	○	○	○	○	○

日曜・祝日 休診

TEL 045-717-6449

〒222-0002 横浜市港北区師岡町821-3
★トレッサ北棟から徒歩5分 鶴町中学校斜め前です★